

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.39	-0.10
JPY/THB	0.2553	0.0021
USD/JPY	142.47	-1.64
EUR/THB	36.53	0.06
EUR/USD	1.0042	0.0045
USD/CNH	6.938	-0.024
SGD/THB	25.98	0.02
AUD/THB	24.89	0.26
USD/INR	79.59	-0.13
USD Index	109.00	-0.70

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.168	0.004
10Y (THB)	2.768	-0.003
5Y (USD)	3.435	0.014
10Y (USD)	3.310	-0.007

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,718.8	8.2
WTI (Oil)	86.79	3.25
Copper	7,856.5	46.0

Stock

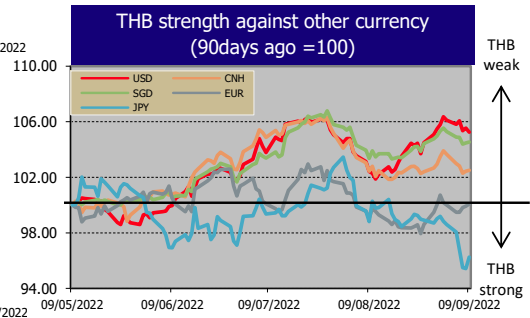
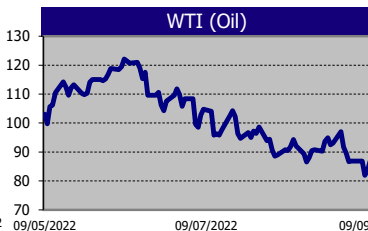
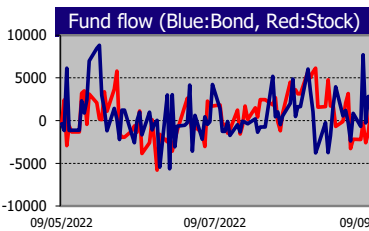
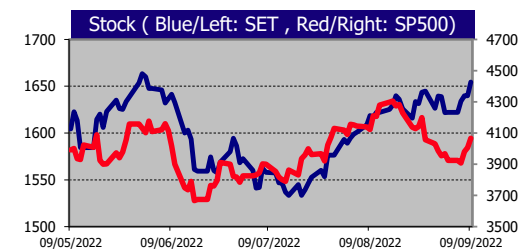
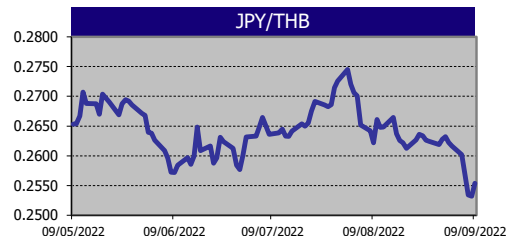
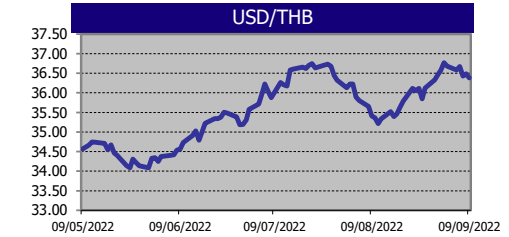
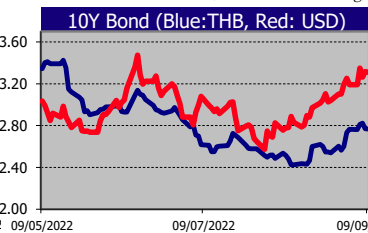
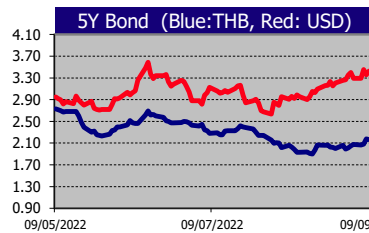
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,654.62	14.62
NIKKEI (JP)	28,214.75	149.47
DOW (US)	32,151.71	377.19
S&P500 (US)	4,067.36	61.18
SHCOMP (CN)	3,262.05	26.47
DAX(GER)	13,088.21	183.89

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,300	2738.8
Bond net flow	1,337	-1489.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

9日のドルパーツは早朝からドル売り優勢。36パーツ前半で取引を開始し、取引開始後間もなく同日の安値圏へ下落。正午過ぎには一時下げ幅を縮小する動きが見られたが、ドル高一服感からアジア通貨は総じて対ドルで上昇し、夕刻にかけて再びドルパーツは下落した。海外時間、ドルパーツはしばらく上値重い展開となったが、ウォラーFRB理事ら高官からのタカ発言でそれまで低下していた米金利が上昇すると、36.39まで下げ幅を縮めて取引を終えた。

●ドル円その他

9日のドル円は144円近辺で取引を開始。朝方からドル売りが優勢で143円後半まで下落した後、最近の急激な円安進行を懸念した黒田総裁からの円安牽制発言を受けて142円半ばまで下落。その後は一時143円台へと戻すも、大きく上昇していた反動でドル売りが入りやすく、バンコク時間終盤には142円前半へ。海外時間、ユーロドルの上昇や米金利の低下により、下げ幅を拡大。前日から約3円も円高となる141円半ばまで下落した後、FRB高官からの75bp利上げを支持するような発言とともに米金利が上昇に転じると、142.47レベルまで戻した。

Bangkok Dealer's Eye

先週6～8日の3日間、豪、加、欧中銀が予定されていた会合を開き、3中銀とも利上げを決定しました。各中銀は物価高を抑制するために競い合うかのよう利上げに邁進しています。また、先週末も米FOMCのブラックアウト期間の直前にパウエル議長を含むFed高官3名から相次いでタカ派なコメントがあったことも前々週比でのグローバルな金利上昇を後押ししていると思われます。こうした中、ドルインデックスは約20年ぶりの水準へと達して、米金利上昇や各国中銀の金融引き締めに対する警戒感、中国経済の減速懸念等さまざまなリスクオフ要因が参加者をドル買いに向かわせています。今週は米8月CPIやPPI、小売売上高等の重要な経済指標の発表が予定されています。翌週にFOMCを控えている中でこれら経済指標の結果を受けた同イベントに対する思惑の変化によって米金利の上下に引き続き左右される展開になるだろうと予想しています。(鈴木)